

金沢美術工芸大学 令和6年度学校推薦型選抜 試験問題

学科・専攻	第2次選考試験問題
インダストリアル デザイン専攻	実技試験 厚さ1mmの金属板を加工してできる、 美しい造形の靴べらをデザインしなさい。
工芸科	実技試験 与えられた「まいたけ」と「紙束」をモチーフとして、 粘土を用いて立体表現しなさい。

- ※ 条件等は、次ページ以降の試験問題をご覧ください。
- ※ 第1次選考は書類審査です。
- ※ 芸術学専攻の第2次選考は「面接」のため、試験問題はありません。

令和6年度学校推薦型選抜第2次選考 実技試験

金沢美術工芸大学美術工芸学部 デザイン科 インダストリアルデザイン専攻

■問題

厚さ1mmの金属板を加工してできる、美しい造形の靴べらをデザインしなさい。

■デザインの条件

- 1、板を切り出して、曲げたり折ったり穴を開けたりするのは良いが、溶接などの接着は不可。
- 2、主に以下の3つを考慮すること。
 - ・使わない時も美しい抽象造形。
 - ・持ち易い本体形状。（異素材を組み合わせないこと）
 - ・靴を履きやすい形状。
- 3、造形・色彩は自由に考えること。
- 4、異なるアイデアのデザイン検討モデルをB3白ケント紙で5点以上原寸で制作すること。
- 5、形状を維持させるためにテープを利用してもよい。

■提出物

1、デザイン最終モデル（1点）

- ・最終モデルをB3黒ケント紙の台紙に貼って提出すること。

2、最終提案の着彩スケッチ（B3白ケント紙 1枚）

- ・提案するデザイン1点を、わかりやすく描くこと。
- ・デザインポイントや使用方法、寸法などをイラストや文章で簡潔に表現すること。

3、デザイン検討モデル（5点以上）

- ・デザイン検討モデル全てをB3白ケント紙の台紙に貼り、台紙にはそれぞれ何を検討したかを記載すること。

4、草案用紙（A3コピー用紙 2枚）

- ・異なるアイデア、形、機能などを考える際にメモとして使用してもよい。

*1～3、を別紙のレイアウト図を参照し、スチレンボードの所定位置に貼ること。

*4、は別途回収する。

■注意

- 1、提示したサンプルのデザインには、とらわれないこと。
- 2、与えられたサンプル、材料、道具類、及びこの問題用紙は試験終了後に回収する。

令和6年度

金沢美術工芸大学 学校推薦型選抜

工芸科 実技試験（立体表現）

令和5年11月25日（土曜日）8時30分～12時30分

問題

与えられた「まいたけ」と「紙束」をモチーフとして、
粘土を用いて立体表現しなさい。

条件

1. モチーフの個数、大きさなどの設定は自由とする。
2. モチーフは加工しても良い。
3. 使用する粘土の量は与えられた範囲内で自由とする。
4. 解答作品は粘土板小（塑像板）からはみ出さないこと。
5. 解答作品は高さ30cm以内とする。

注意

1. 募集要項に指定された持参用具と机上のもの以外は使用しないこと。
2. 配布された塑像用具は加工しないこと。
3. 粘土の中に異物を入れないこと。
4. モチーフ及び全ての配布物は持ち帰らないこと。

モチーフ まいたけ：1株 紙束：620グラム

配布物

水粘土8kg、粘土板大（練り用）、粘土板小（塑像板）、塑像用具一式、霧吹き、雑巾2枚、水入れ、草案用紙5枚